

災害時のトイレ

★災害時のトイレ問題★

- 災害が起きると、断水や停電、そして下水道や浄化槽の損壊により、多くの水洗トイレは使えなくなります。水洗トイレが使用できないことに気付かずに使ってしまうと、便器はあっという間に大小便で一杯になり、後処理も大変です。トイレの衛生環境が悪化すると、感染症の温床になります。
- トイレがなかなか利用できないと、トイレに行く回数を減らすために、水分や食事を控えてしまいがちです。その結果、脱水症状になるほか、慢性疾患が悪化するなどして体調を崩し、エコミークラス症候群や脳梗塞、心筋梗塞で命を落とすことにもなります。

★水洗トイレが使えない時の工夫（排水先に問題がある場合）★



★汲み水によって使用方法（排水先に問題が無い場合）★

汲み置き水：
ゴミバケツのような大きな容器を用意し、水をためる。

水はこまめに補給する。補給には体力もいるので、避難者やボランティアにも協力してもらいましょう。

洗面器やボール等：
水を汲み便器に一気に流す。

お風呂の残り湯も活用しましょう。

ゴミ袋

トイレトーパーは流れにくいので、便器には流さず、ゴミ袋に入れましょう。

可能であれば、専用の履物を用意すると衛生的でしょう。



清潔な手を維持しましょう

食中毒や感染症を防ぐためには、トイレ使用後の手の衛生が大事！

<p>■ 水が使えない場合</p>	<p>➡ ● 手指消毒剤（アルコール消毒液など）を手にしっかりすりこみます。</p>	
<p>■ 水が使える場合</p>	<p>➡ ● 石けんを使用し、手の汚れをしっかりと洗い流す。 ● 共用タオルは置かない。（感染症予防のため） ● 手洗い後、ハンカチなどで水分を拭き取ったあとに消毒剤を使うとより効果的。</p>	



トイレゴミの処理

ゴミの収集が再開すれば、生ゴミとして出すことができます。

「排泄物」とわかるように、ゴミ袋に明記します。



備蓄・持出し品

生理用品やオムツ（子供用・大人用）を使用している人は、普段から多めにストックしておきましょう。

他にも、避難所への持出し品として下着類を用意しておく、より快適に過ごせるでしょう。